

さいたまけんりつとしょかん

埼玉県立図書館だより

～あなたの調べるを応援します～

Saitama Prefectural Library Newsletter

特集

資料収集・整理担当のお仕事

／ 意外に知らない!? ／

県立図書館のお仕事紹介

資料収集・
整理担当編

こんにちは。皆さんは図書館の図書がどのように選ばれ、皆さんのお手元に届けられているのかご存じでしょうか？ 今回は、埼玉県立図書館を支える舞台裏、資料収集・整理担当の業務をご紹介します。

どんなお仕事？

資料収集・整理担当は、埼玉県立図書館の図書資料の受入作業を一括して行っています。一般図書資料、埼玉県に関する地域・行政資料（埼玉資料）、児童資料について、様々な方法で資料情報を収集し、購入または寄贈の受け入れを判断します。その後、データ登録や装備を行い、図書館の棚に並べられる状態にするまでを一貫して担当しています。

外国語資料、視聴覚資料、障害者サービス用資料については、別に専門の担当者がいます。

何を基準にするか

埼玉県立図書館の運営には、「専門的な資料・情報や地域資料等を収集・保存する」「県民の課題解決を支援するため、調査相談など資料・情報の提供の充実を図る」を始め、五つの基本方針が掲げられています。これらの方針と選定基準に基づき、一般図書資料は専門的・学術的な資料を中心に選書しています。（埼玉県立図書館資料収集方針・埼玉県立図書館資料（図書）選定基準）

内容はもちろん、他にも

図書館ではレファレンス（調べもののお手伝い）を行っており、その調査に役立つ資料を揃えることが重要です。選書の際には、筆者の所属や書籍出版歴、注や参考文献、索引の有無といった点にも注目しています。また、県内市町村立図書館の所蔵状況も考慮し、埼玉県内全域を一体とした図書館ネットワークの中核となるよう努めています。

サービスの特性ごとに…

さらに、県立図書館ではビジネス支援サービスと健康・医療情報サービスを重点サービスとしており、専用のコーナーを設けています。

ビジネス支援サービス（熊谷館）では、中小企業や個人の経営者向けの資料を中心に、健康・医療情報サービス（久喜館）では、認知症、がん、発達障害、妊活・出産・育児、闘病記といった特設コーナーの資料を中心に収集しています。

児童資料については、子ども読書支援サービスの対象となる中学生までを対象に、網羅的な収集を目標と

しています。

県立図書館の核となる埼玉県の地域・行政資料についても、網羅的な収集に力を入れています。県や市町村が刊行する統計書はもちろん、埼玉県に関する内容を含む書籍や、県にゆかりのある人物に関する書籍など、幅広く収集しています。

令和四年度からは県内自治体が発行するオンライン資料※も積極的に収集し、県立図書館のデジタルライブラリーで公開しています。

実際どうやって選ぶ？

資料選定は、主に取次業者が発行する新刊情報誌を用いて行います。本の現物を見ることができないため、他館の所蔵情報や出版社の紹介、読者のレビューなど、あらゆる情報を精査し、複数の職員で確認作業を行います。

もう一つの重要な選定方法は、

見計らい選定です。書店から火曜日（金曜日）まで毎日新刊図書の現物を納品してもらい、中身を確認し、週に一度の会議で購入する図書を決定します。確認する図書は内容の分野ごとに担当者が割り当てられ、会議では担当者が判断に迷う資料について全員で検討します。毎週百五十冊程度納品され、そのうち約四割を購入しています。

白書や統計、シリーズものの一部など、新刊が発行されたら必ず購入する図書もあります。その他、新聞や雑誌の新刊情報や書評、出版社から送付されるパンフレットや図書目録、国立国会図書館が作成する出版物のデータも確認し、網羅的な収集に努めています。

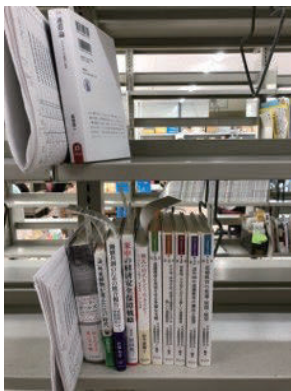
個人利用者や市町村立図書館、県内の県立高校図書館からのリクエストについても、見計らい選定の会議で検討し、収集方針や選定基準に基

選書



埼玉県立図書館の蔵書

見計らい選定の棚。チェック済みの本が上下の棚に分けて置かれているのがわかります。



見計らい選定の棚 2



見計らい選定の棚 1

づいて判断します。

寄贈の本も

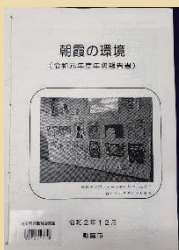
購入以外では、寄贈図書の選定も行っています。県立図書館の収集方針に合わないかと判断された図書は、市町村立図書館や県内の他の機関へ譲渡しています。

令和五年度は、受け入れた資料のうち購入と寄贈の割合はほぼ半々でした。

資料に影響を与えにくい、中性の紙でできた中性紙封筒を使用



ラベルも封筒に貼ることで貴重な地域資料への影響は最小限に



ステープラーどめの資料は針が錆びてしまうことがあるため、外して麻糸で綴じ直します

まだ続く
棚への道のり

装備

データ登録が完了したら、バーコードや館名シールの貼付、蔵書印、フィルムコーティングなどの装備を行います。



背ラベル



フィルムコーティング

地域資料は原則としてフィルムコーティングを行わず、元の状態での保存を優先します。



そして皆様のもとへ

ここまで用意が整ったら、いよいよ図書館OPACから検索できるようにして、図書を各館に送る配本作業を行います。

このように、資料収集・整理担当は、資料を迅速かつ正確に提供できるよう、日々業務に取り組んでいます。図書館で手に取る1冊1冊の裏には、このような作業が隠れています。私たちの努力が、皆様の知識の探求や趣味の充実に役立てれば幸いです。

データ作成・整備



埼玉県立図書館ウェブサイトの詳細蔵書検索画面それぞれの項目で検索できるのも、資料のデータを詳細に入力しているからこそです。

にまたがる場合は、メインの分類とは別にサブの分類を登録することもあります。

また、図書の内容を表すキーワードである件名も登録します。件名は一冊の図書に複数登録される場合もあります。

ZDCと件名は、図書館OPACで特定のテーマに関する図書を探す際に役立ちます。

登録時は、利用者が図書を見つけやすいよう配慮しています。例えば、特殊なルビが振られているタイトルの場合は、一般的な読み方も登録します。埼玉県に関する記述には特に注意し、関連記述があれば地域・行政資料ではない図書でも注記に記載します。

重要なのはZDC（日本十進分類法）です。ZDCは内容に基づいた図書分類法です。当館ではZDCに従って配架を行っているため、分類と同時に配架場所も決定されます。分類が難しい場合は複数の職員で相談し、複数分野

「○○で検索！」できるように

登録時は、利用者が図書を見つけやすいよう配慮しています。例えば、特殊なルビが振られているタイトルの場合は、一般的な読み方も登録します。埼玉県に関する記述には特に注意し、関連記述があれば地域・行政資料ではない図書でも注記に記載します。

重要なのはZDC（日本十進分類法）です。ZDCは内容に基づいた図書分類法です。当館ではZDCに従って配架を行っているため、分類と同時に配架場所も決定されます。分類が難しい場合は複数の職員で相談し、複数分野

受け入れが決まったら……

蔵書にするには

受け入れが決定した図書は、蔵書として利用できるよう準備します。データ作成、装備、配本といった作業が含まれます。

図書館の資料として

図書のデータには書誌データと所蔵データの二種類があります。書誌データは書名、著者名、出版社など図書一般についての情報で、基本的に重複しません。図書館OPAC（蔵書検索システム）で検索した際に表示されるデータは、この書誌データを参照しています。

一方、所蔵データは図書館が独自に作成した蔵書管理のためのデータで、固有の資料番号、所蔵場所などを登録します。例えば、同じ図書を図書館で三冊所蔵している場合、書誌データ一件に所蔵データ三件が紐付けられます。

書誌データは、MARCと呼ばれる機械処理可能なデータを購入し、システムに取り込めます。担当者は本の現物を見てデータの不足や表記の誤りを修正し、図書館の整理基準に合うよう形式を整えます。MARCデータが存在しない図書は、書誌データを新たに作成します。

文化財と標本の劣化図鑑

荘厳な文化財、精緻な標本の美しい図鑑は数あれど、劣化したものばかり集めた図鑑はそうないのではないだろうか。

この本は、様々な種類の文化財や標本がどのように劣化するかを示した図鑑である。京都大学総合博物館の実際の収蔵品から、様々な要因で傷んでしまった品々がずらり、主な（劣化の原因は複合的なものだが）要因ごとに分類されて並んでいる。（「読者諸氏の誤解を防ぐため申し添えると、劣化の大部分は、総合博物館ができる前に、長らく劣悪な環境下に置かれていたために生じたものである。」まえがきより）

並べられている品は多岐にわたる。司書として馴染みのある紙資料やフィルムの他にも、液浸標本、織物、蠟模型、はく製、鉱物など様々だ。要因の分類は十種類もある。大雑把に見ても、環境によるもの、材質の特性によるもの、取り扱いによるもの、等々。数十年・数百年のスパンで保存しよう、と考えた途端、ありとあらゆるものが

リスクになりうるのである。

空気に触れたらいけないものがある。光に当てたらいけないものもある。ほんの数ミリ隙間があったら、適切な素材じゃなかったら、うっかり触れてしまったら、夏は暑く冬は寒かったら……。

“もの”は本来壊れるものである。「置いているだけ」「ただ仕舞っておくだけ」「場所があればいい」だなんてとんでもない。展覧会のすました器物たちが、どんな努力の上でそこに並んでいるのかがよくわかる一冊だ。人々のこれまでの闘いの記録、「処方箋」と題した資料種ごとの対処法も、この本にはきちんと載っている。

（紹介者 企画担当 川上）

文化財と標本の劣化図鑑

岩崎奈緒子、佐藤崇、中川千種、横山操 編集
京都大学総合博物館 協力
朝倉書店 2023
（所蔵館 熊谷図書館 069.477）



司書がおすすめする、埼玉県立図書館所蔵の本や雑誌、CDなどをご紹介します。

近くの図書館に無い本を借りたい

埼玉県内の図書館の蔵書を一齐に調べたり、最寄りの図書館に取り寄せするサービスがあります。

埼玉県内図書館横断検索

インターネットで「埼玉県 横断検索」と検索すると見つけることができる、埼玉県内の図書館の資料をまとめて検索するサービスです。



<https://www.lib.pref.saitama.jp/calil/index.html>



埼玉県内図書館横断検索のトップ画面

相互貸借

お近くの図書館に無い本は、県内の他の図書館からお取り寄せができます。依頼方法や手続きはご利用になる図書館によって異なるため、まずは一番利用しやすい図書館に相談してみましょう。

お近くの図書館で取り寄せの手続きを依頼します。
依頼方法等は各図書館にお問い合わせください。



本のある図書館から、お近くの図書館まで本が運ばれます。



本が届いたら、お近くの図書館で本を借ります。
返却も、その図書館にします。

図書館によって「新刊図書は一定期間取り寄せできない」など条件が異なります。 ※取り寄せには時間がかかります。あらかじめご了承ください。

